

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体をはぐくむ教育の推進	
事業内容	<p>・小学生を対象に、山形県酒田市児童生徒と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、子供達の視野の広がり及び教養に対する意欲と将来に向けての刺激を与える。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a)当初予算額	5,142	5,187	5,687	4,872	4,617
	(b)予算現額	5,076	5,138	5,227	4,800	4,888	
	(c)増減額(b-a)	▲66	▲49	▲460	▲72	271	
	(d)繰越額	—	—	—	—	—	
	A.計(b+d)	5,076	5,138	5,227	4,800	4,888	
	B.執行済額	5,076	5,138	5,227	4,800	4,888	
	うち交付金充当額	4,060	4,111	4,181	3,840	3,910	
	次年度繰越額	—	—	—	—	—	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	本村小学生を対象に、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。派遣生徒数:36人	目標	(36人)	(36人)	(36人)	(36人)	
		実績	35人	35人	35人	35人	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当初目標が36人であったが、病気のため1名辞退者が出たため35人の実績となった。 ・山形の文化に触れ、民泊や体験学習等とおして交流することが出来、見聞を広めることが出来た。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	()	()	()	(80%)	()
	【参考指標】 ・酒田市広野小学校との交流会の実施 ・酒田市市内での民泊の実施 ・スキー体験の実施 ・報告会の実施(1回)	目標	()	・小学校との交流 ・民泊の実施 ・スキー体験 ・報告会	・小学校との交流 ・民泊の実施 ・スキー体験 ・報告会	()	()
		実績		・小学校との交流 ・民泊の実施 ・スキー体験 ・報告会(1回)	・小学校との交流 ・民泊の実施 ・スキー体験 ・報告会(1回)		
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は、派遣後、報告会において団員の個人のテーマ、班のテーマの自己評価を発表した。 ・報告会において山形県と沖縄県の文化の違いを話し合い、研修の振り返りを行った。 ・前年度同様に報告会時に保護者アンケートを実施した。「交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったと感じるか」の問いに対し、回答した保護者の80%以上が「目的意識や他文化への興味関心が増してきたように感じられる」と回答した。 ・上記報告会の結果を踏まえ参加者全員の報告書を作成した。 					

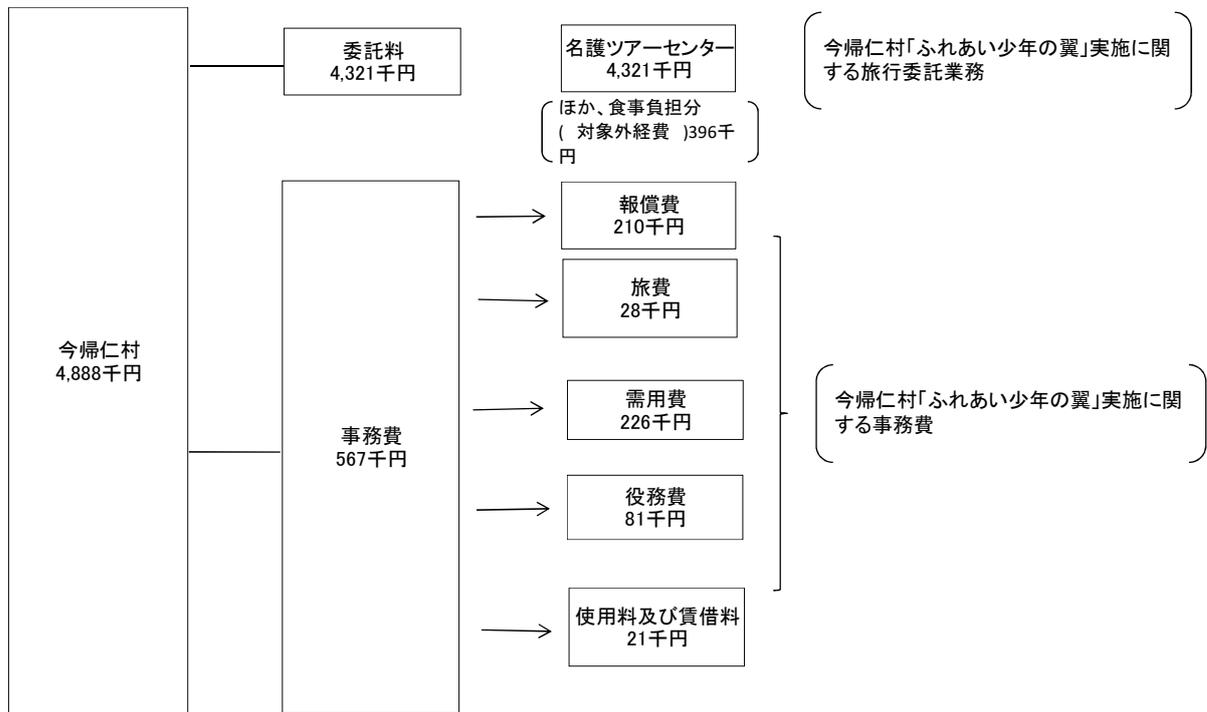
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・子供達の視野の広げ、教養に対する意欲を向上させるため、交流の質の確保に努めることが課題である。</p>	<p>・より交流の質を高めるには、参加した児童生徒の研修前後における意識の変化を基に検証を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・より交流の質を高めるため、参加した児童生徒へのアンケートを実施し、研修の前後における意識の変化を把握するとともに、今後の交流メニューの検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

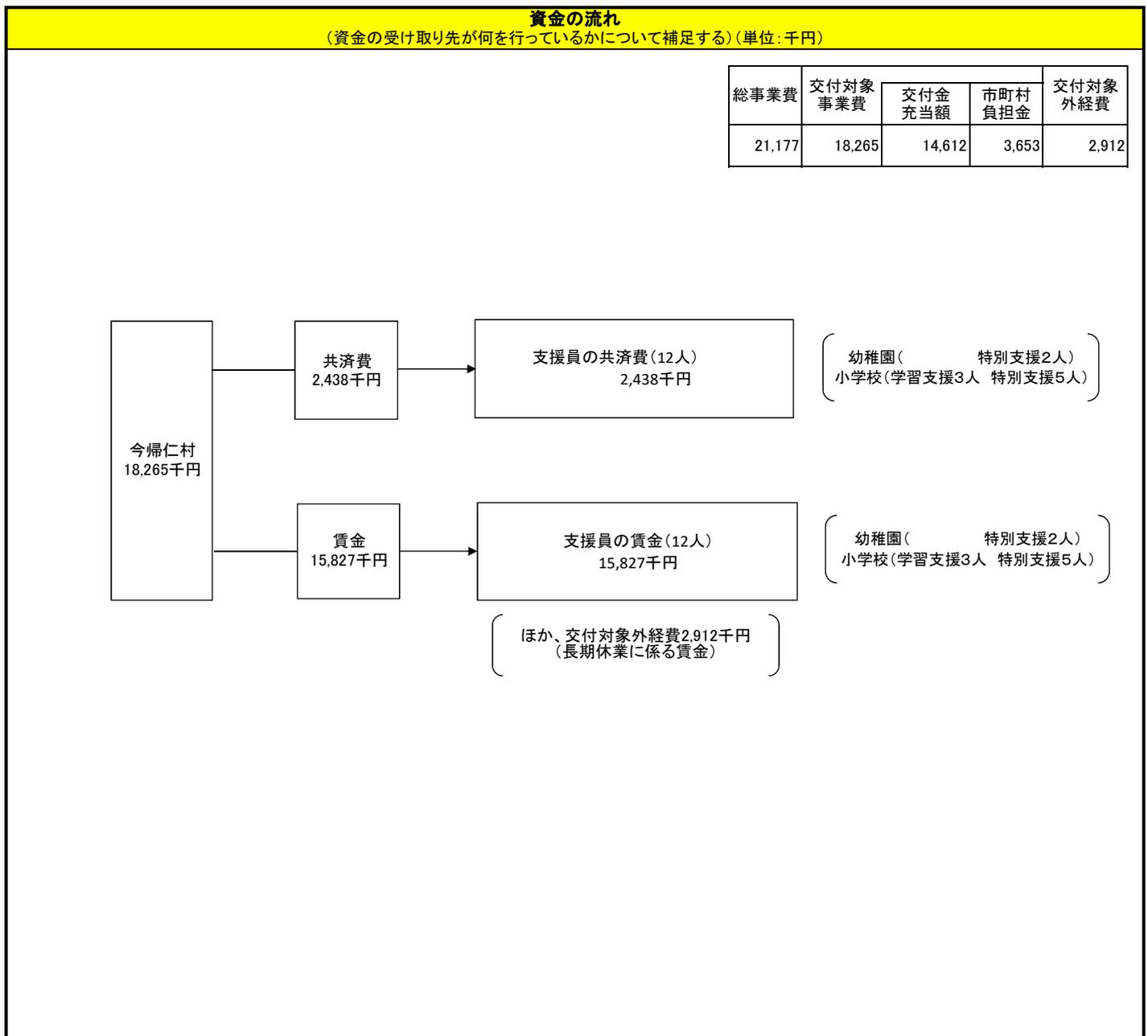
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,284	4,888	3,910	978	396



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者については、随意(見積もり合わせ)契約で選定し妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○将来の指導者育成の為、小学生を対象とした交流事業を行う目的の為の支出であり、関係する書類等を検証した結果適正である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		教育環境充実事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進	
担当部署名						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒に対し、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、幼稚園に特別支援員、小中学校にそれぞれ学習支援員と特別支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,353	29,770	33,226	23,655	19,625
		(b) 予算現額	19,855	21,294	33,226	14,138	18,265
		(c) 増減額(b-a)	▲1,498	▲8,476	0	▲9,517	▲1,360
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	19,855	21,294	33,226	14,138	18,265
	B. 執行済額		19,855	21,294	19,369	14,138	18,265
	うち交付金充当額		15,844	17,035	15,495	11,311	14,612
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	58.3%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		出勤日数の減により、当初予算から1,360千円の減額となったが、事業計画どおりに執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	支援員(預かり含む)の配置人数 ・幼稚園(特)1人 ・小学校(学)3人(特)4人 ・中学校(学)1人(特)1人	目標	幼(預)4人(特)0人 小(学)3人(特)8人 中(学)1人(特)1人	幼(預)4人(特)0人 小(学)3人(特)8人 中(学)1人(特)1人	幼(特)0人 小(学)3人(特)5人 中(学)1人(特)1人	幼(特)1人 小(学)3人(特)4人 中(学)1人(特)1人	
		実績	幼(預)0人(特)1人 小(学)3人(特)7人 中(学)1人(特)1人	幼(預)0人(特)2人 小(学)3人(特)6人 中(学)1人(特)1人	幼(特)1人 小(学)3人(特)4人 中(学)1人(特)1人	幼(特)2人 小(学)3人(特)5人 中(学)1人(特)1人	
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	・学習支援員は、目標どおり配置した。 ・特別支援員は、対象幼児及び児童の増加に伴い、配置人数を増やして対応し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県学力達成度調査における、県と本村の正答率の差 ①小学生 -2.4ポイント以上 ②中学生 -4.0ポイント以上	目標	()	(①-2.4P以上 ②-4.0P以上)	()	()	()
		実績		(①+2.0P ②-10.0P)			
	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		75%			
進捗状況説明	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村の差は、小学校6年生三教科(国・数・理)合計で、「+2.0P」、中学生3年生三教科(国・数・理)合計で「-10.0P」となり小学校は、目標を達成することができたが、中学校は、未達成である。 ・アンケート結果について、学校生活や学習上の困難の改善を図ることができ、落ち着いた学校生活を送れたとの回答が75%となり、目標を若干達成できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県学力達成度調査における、県と本村の差は、小学生は、達成できたが、中学生において達成に至らなかったことから、効果的な学習支援が課題である。 ・学習支援員および特別支援員は学校経営上なくてはならない存在となっているが、対象児童生徒の数は年々増加の一方であるため、きめ細かい対応まで至っていない部分も見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な学習支援の提供にあたっては、教師と支援員の連携が重要となる。 ・より満足度が高まる特別支援の提供にあたっては、園児、児童、生徒の成長について、保護者、教員、支援員間で随時情報交換を行うことが必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な学習支援の提供に向けて、定期的に連絡会及び研修会を行い、教師と支援員の連携を高める。 ・より満足度が高まる特別支援の提供に向けて、保護者、教員、支援員間の情報交換を密にする。 		



資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援員については、ハローワークにて公募し面接で決定している。学習支援員においては、「教員免許の所持」を条件としてさだめており、適切かつ妥当な選定である。 ○予算規模については、必要人員の確保が出来た。 ○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	中学生海外語学留学支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育推進		
事業内容	英語への関心・意欲を高め国際感覚豊かな人材を育成するため、本村の中高生の海外ホームステイを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a)当初予算額	1,992	2,126	2,562	2,563	3,442
	(b)予算現額	2,125	2,938	3,904	2,709	2,632	
	(c)増減額(b-a)	133	812	1,342	146	▲810	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	2,125	2,938	3,904	2,709	2,632	
	B.執行済額	2,125	2,938	3,904	2,709	2,632	
	うち交付金充当額	1,700	2,350	2,813	2,167	2,105	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初予算から810千円の減額が生じたが、委託内容を詰めた結果であり、事業計画どおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	本村今帰仁中学校に在学する中学生2人をハワイ州に2週間、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる。	目標 (中学生:2人 高校生:4人)	(中学生:2人 高校生:4人)	(中学生:2人 高校生:6人)	(中学生:2人 高校生:6人)		
	実績	中学生:2人 高校生:6人	中学生:2人 高校生:6人	中学生:2人 高校生:6人	中学生:2人 高校生:6人		
	目標 () () () ()	実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生海外語学留学支援事業 中学生2人 留学先:米国ハワイ州 H30.7.24~8.7まで 高校生6人 留学先:米国ジョージア州 H31.2.20~3.4まで ・事業計画どおり中学生の海外ホームステイを実施し、目標を達成した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標 () () () () ()	実績	80%			
	目標 () () () () ()	実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後の保護者へのアンケートの結果、「生徒の国際的な視野がより広まった」との回答が80%となり、目標を達成した。 					

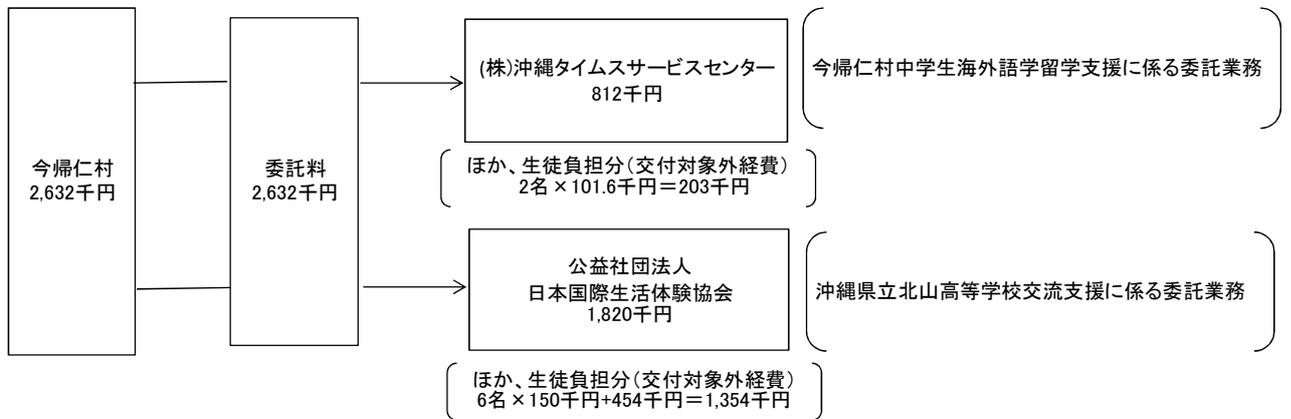
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後の報告会を各学校単位では行っているものの、村内中高生の英語への関心・意欲をさらに高めるための工夫が課題である。 ・国際感覚豊かな人材育成に向けて、より多くの村内中高生が生きた英語に触れる機会を増やしていくことが課題となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村学力向上推進大会にて派遣者の発表を実施するなど、村内中高生の英語への関心・意欲が高まるような報告会のあり方を検討する必要がある。 ・村内中高生が英語での国際交流に接する機会について検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・村内中高生の英語への関心・意欲を高めるため、村全体のイベントにおいて、海外ホームステイ経験者の生の声を報告し、本事業について周知する。
 ・国際感覚豊かな人材を育成するため、生きた英語に触れることができる国際交流プログラムなどの創出を検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,189	2,632	2,105	527	1,557



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○中高生向けの海外ホームステイを実施している委託先を選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に応じた経費の積み上げとなっており、予算規模は適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○総事業費の2割相当額を自己負担(交付対象外経費)としているおり、妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものである。

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	児童生徒等の県外派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	小、中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	2,200	2,200	2,200	1,000	1,000
	(b) 予算現額	2,335	1,260	1,050	1,000	967	
	(c) 増減額(b-a)	135	▲ 940	▲ 1,150	0	▲ 33	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	2,335	1,260	1,050	1,000	967	
	B. 執行済額	2,335	1,260	1,050	894	967	
	うち交付金充当額	1,868	1,080	840	715	774	
	次年度繰越額	—	—	—	—	—	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	89.4%	100.0%	
予算の状況の説明	当初予算額から若干の減額が生じたものの、事業計画どおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	目標	(派遣費を補助)	(派遣費を補助)	(派遣費を補助)	(派遣費支援)	
		実績	派遣費補助の実施	派遣費補助の実施	派遣費補助の実施	派遣費支援	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	19の運動競技、67名の派遣費用補助を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	目標	()	(80%)	()	()
	実績			90%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	保護者へのアンケートの結果、「県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がった」との回答が90%を超え、目標を達成した。						

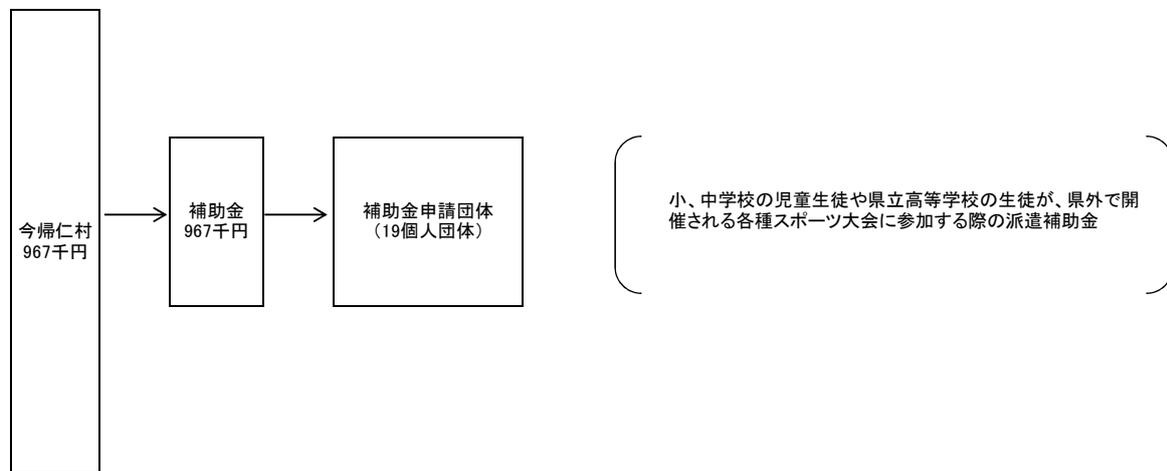
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から一定以上の成果は出ていると考えられる。 これまでに運動競技は多いものの、文化系団体の派遣が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの満足度は高いが、参加数が少ない面がある。 文化系の大会についても派遣対象であることを伝えて事業の活用を促す。

今後の取り組み方針

・現在のアンケート調査では、事業利用者の満足度は高いため内容の充実は今後も継続する。
 ・文科系団体にも事業利用可能であることを周知し、事業を活用してもらう。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
967	967	774	193	0

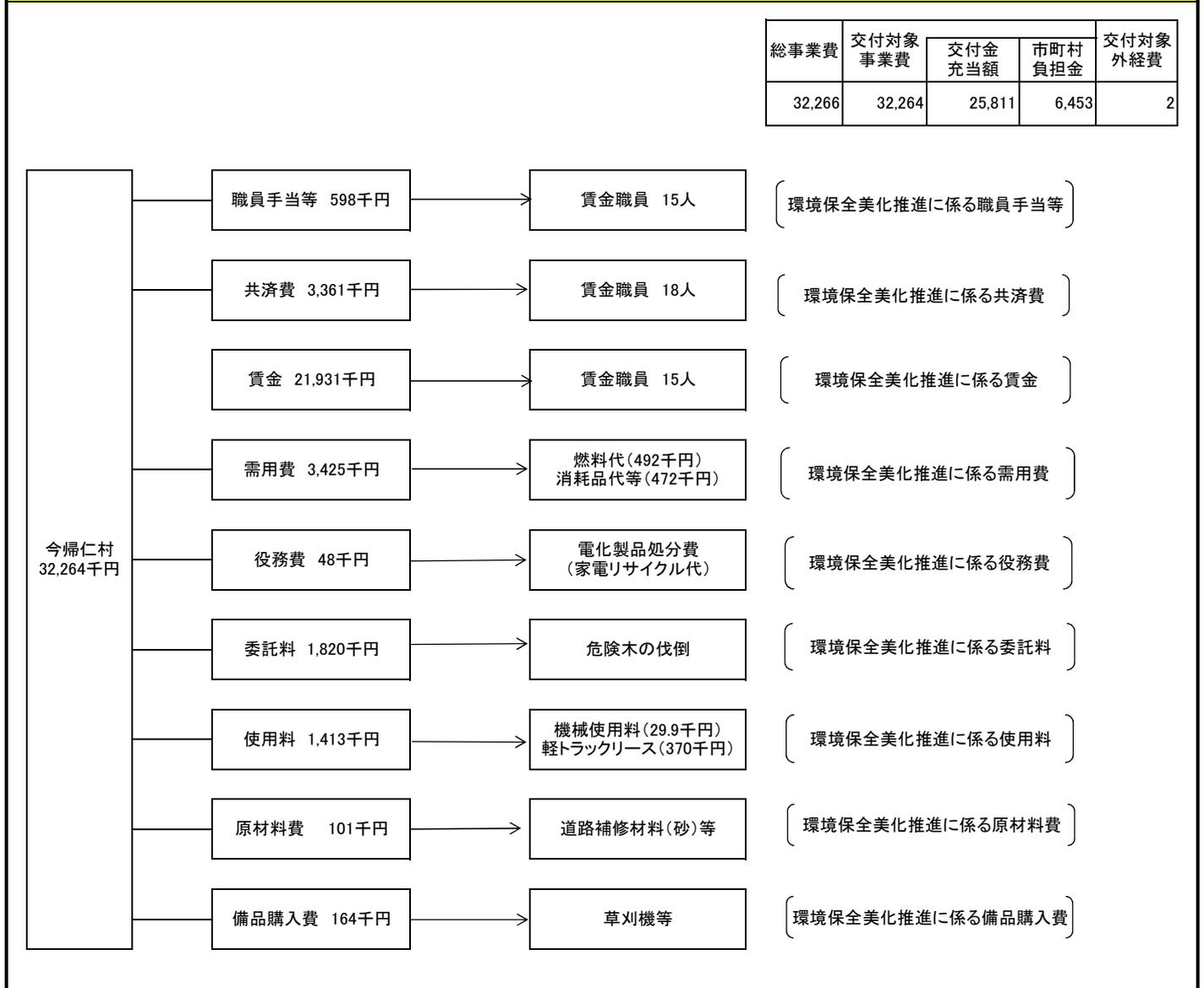


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各団体の申請に基づき審査を行い、選定を行っているのが妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用は発生しておらず、予算規模は適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金要綱に基づき航空運賃の補助(補助率1/2)を行っており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途についてはその大会実績による派遣費補助の観点から必要なものであり適正である。

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①		環境保全美化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	経済課、建設課、社会教育課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	本村の観光拠点である今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。また、地域環境の保全、地域住民及び観光客の安全と誘客を図り景観を保全するため、不法投棄のハブロール、投棄物処理、ハブ駆除対策、野犬捕獲等の対策を強化する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,728	30,694	27,668	23,747	30,050
		(b) 予算現額	35,097	32,961	27,666	24,830	32,264
		(c) 増減額(b-a)	2,369	2,267	▲2	1,083	2,214
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	35,097	32,961	27,666	24,830	32,264
	B. 執行済額		35,097	32,961	27,666	23,615	32,264
	うち交付金充当額		28,077	26,369		18,892	25,811
	次年度繰越額		—	—	—	—	—
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	95.1%	100.0%
予算の状況の説明		台風に伴う危険木の増加等に対応するため、予算の増額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	今帰仁城跡及び観光地の美化及び観光ルートの美化を行う。	目標	(美化作業の実施 景観保全の実施 花植え付けの実施)	(美化作業の実施 景観保全の実施)	(観光地の美化 作業の実施)	(美化の実施)	
		実績	美化作業の実施 景観保全の実施 花植え付けの実施	美化作業の実施 景観保全の実施	観光地の美化 作業の実施	美化の実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	今帰仁城跡、古宇利島を中心とした観光地や村内文化財のある観光ルートの美化作業を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		84%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	観光客等に対するアンケート調査の結果、「観光地として魅力的な景観が確保されている」との回答が84%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度は度重なる台風により、危険木が多く発生した。 ・観光客及び訪れる場所の増加に伴って美化作業の対象箇所(宿泊所や飲食店及びその周辺道路等)が増加しており、草刈り等の美化作業が間に合わない箇所があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険木について、事後の対応だけでなく、台風襲来前に観光ルート及び観光地周辺を確認し、事前に危険木の伐倒を進めることも検討する必要がある。 ・美化作業の対象箇所の増加に対応するため、作業員数を確保し、計画的に作業を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・危険木について、倒木の発生や可能性が確認された場合は早急に対応し、安全な観光ルート及び観光スポットを確保する。 ・美化作業の対象箇所の増加に対応するとともに、観光地として魅力的な景観を保つため、必要となる作業員数を確保し、計画的に作業を進める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



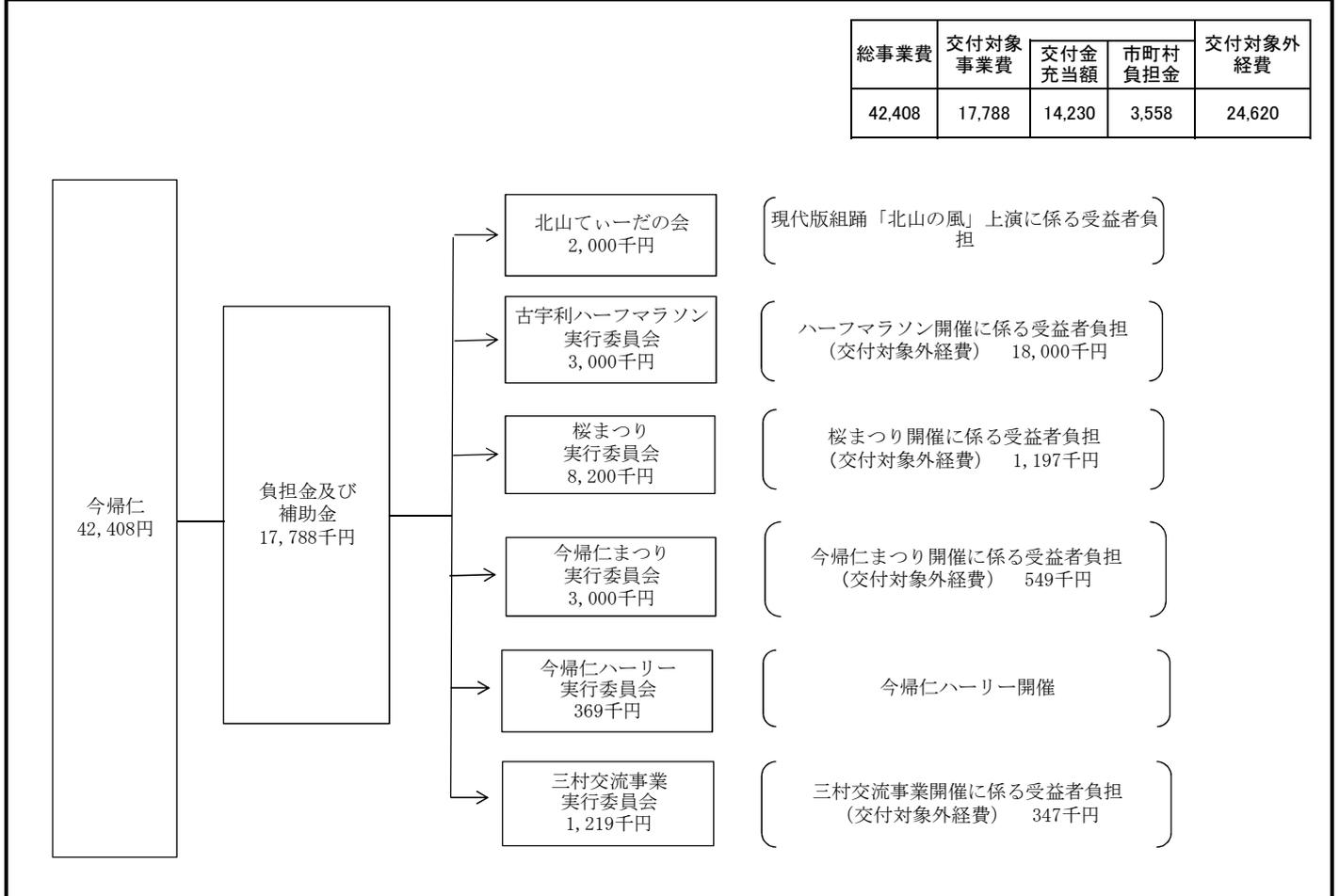
資金の流 れの点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○見積価格などを踏まえ支出先を選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要なものに限定しているので適正な規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		観光力基盤強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
	担当部課名	総務課 経済課 建設課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立
事業内容		今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、今帰仁まつり、ハーリー、桜まつり、いいなまつり等の実施に対して補助する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	24,300	20,530	18,000	13,705	17,800
	(b) 予算現額	29,300	21,929	22,053	13,705	17,788	
	(c) 増減額(b-a)	5,000	1,399	4,053	0	▲ 12	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	29,300	21,929	22,053	13,705	17,788	
	B. 執行済額	29,300	21,929	22,053	13,705	17,788	
	うち交付金充当額	23,440	17,543	17,641	10,964	14,230	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		ハーリー大会については、台風接近の影響で開催できなかったため、準備に要した費用のみの計上としたものの、当初計画していた事業内容を概ね執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	現代版組踊「北山の風」(8月・11月・2月)	目標	(8月・10月・2月)	(8月・10月・2月)	(10月(2回)・3月(2回))	(8月・11月・2月)	
		実績	11月(2回)・2月(2回)	7月(2回)・10月(2回)・11月(1回)	6月・7月・10月(2回)・3月(2回)	10月(2回)・2月(2回)	
	古宇利ハーフマラソン(4月)	目標	(4月)	(4月)	(4月)	(4月)	
		実績	4月	4月	4月	4月	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり開催(1月)	目標	(1月)	(1月)	(1月~2月)	(1月)	
		実績	1月	1月~2月	1月~2月	1月~2月	
	今帰仁まつり(10月)	目標	(10月)	(10月)	(10月)	(10月)	
		実績	10月	10月	台風中止	10月	
今帰仁ハーリー(9月)	目標	(8月)	(8月)	(9月)	(8月)		
	実績	9月	10月	10月	台風中止		
三村交流事業(11月)	目標	(11月)	(11月)	(11月)	(11月)		
	実績	11月	11月	11月	11月		
達成状況説明		・現代版組踊、古宇利ハーフマラソン、桜まつり、今帰仁まつり、三村交流事業については、計画通り実施及び開催ができた。 ・今帰仁ハーリー大会については、台風の影響により開催ができなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		現代版組踊「北山の風」来場数:1,400人	目標	()	(1,200人)	(1,330人)	(1,400人)
	実績			2,302人	1,032人	1,145人	
	古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,440人	目標	()	(3,600人)	(3,700人)	(3,440人)	()
		実績		3,555人	3,753人	3,470人	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:45,000人	目標	()	(48,000人)	(43,000人)	(45,000人)	()
		実績		48,750人	50,651人	52,059人	
	今帰仁まつり来場者:10,300人	目標	()	(10,500人)	(11,200人)	(10,300人)	()
		実績		10,500人	台風中止	10,300人	
	今帰仁ハーリー大会参加者数:780人	目標	()	(825人)	(730人)	(780人)	()
実績			825人	760人	台風中止		
三村交流事業来場者:1,100人	目標	()	(1,000人)	(1,200人)	(1,100人)	()	
	実績		1,100人	1,300人	1,100人		
進捗状況説明		・現代版組踊については、10月、2月に単独のイベントを行った。11月には東京にて交友のある団体のイベントに特別出演し、県内外へPRを行ったものの、来場数は目標に届かなかった。 ・古宇利ハーフマラソンについては、村外からの参加者目標数を3,440名と設定しており、県内2,649名(村外)、県外693名、外国人128名、計3,470名の村外参加者があり目標を達成できた。 ・桜まつりについては、昨年の来場者数を約2,000人上回り、過去最高の来場者数を記録して目標を達成できた。 ・ハーリー大会は、台風の影響により開催できなかった。 ・三村交流事業については、伊是名村、伊平屋村所有フェリーによる羽地内海遊覧がそれぞれ200名を超え、昨年度好評だった伊平屋村漁協によるまぐろの解体ショー&即売会を引き続き行ったことなどにより、来場者数は目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 現代版組踊については、2年続けて目標人数を達成できていない。H30年度も今帰仁城跡公演、卒業公演等の定期公演を行ったが、会場の収容人数が限られており、単独イベントのみでは目標人数の達成が難しい。 古宇利ハーフマラソンについては、コースを見直してハーフマラソンのみの実施としてから初めての参加者減となった。沖縄県内のハーフマラソン大会は全て減少傾向にあることから、マラソンブームが収束していると考えられる。 桜まつりについては、県内ニュース番組等のメディアで取り上げてもらう機会が多かった。その為、土日に想定以上の来場があり、駐車場が足りない状況も多かった。 今帰仁まつりについては、これまで花火を打ち上げていた場所が使用できなくなったためH30年度から会場を変更、これまで問題となっていた路上駐車については解消された。 ハーリー大会については、台風の時期においては、予備日の設定が出来る様調整が必要である。 三村交流事業については、フェリー遊覧船を1隻から2隻に増やしたため、乗船者数は増加したが、悪天候の影響で舞台観覧は減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代版組踊については、交友のある団体主催のイベントにも積極的に参加することで、多くの方に今帰仁村の文化の発信を図る。また、あわせて活動組織の活性化を促すことも図ることができると考える。 古宇利ハーフマラソンについては、マラソンブームが収束している中でも参加者数を減らすことがないよう、これまで以上にPRに力をいれる。 桜まつりについては、駐車場の収容台数が限られているため、来場者を平日に分散できるようにイベント内容について検討していく。 今帰仁まつりはH30年度から会場を変更したことによって路上駐車の問題が解消されたが、新たな会場は海風が強くテントの破損や寒さ対策を要したため、次回開催時の検討課題として取り組んでいく。 ハーリー大会については台風等も考慮し、開催時期及び予備日等の設定について検討を要する。 三村交流事業については、好評であり、まつりの目玉であるフェリー遊覧船について、今後も2隻にすることで集客力の向上を図る。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 現代版組踊については、村外及び県外に活動状況を広く情報発信し、類似の芸能団体等のイベント等に招聘されるような活動展開をしていく。併せて、村内での公演も積極的に行い、地域の支援者や次代の子ども達にPRし、活動組織の維持・強化に努めていく。 古宇利ハーフマラソンについては、参加定員に設定している4,000人を達成できるように参加者数の増加を図るため、大会SNS等を効果的に活用したPRに力を入れた活動を行う。 桜まつりについては、混雑の分散化に努め、来場者が安全に楽しむことができるような体制整備を行うことでリピート率を高める。 今帰仁まつりについては、次回からは開催の時期を検討し開催時期にあったイベントを企画することによって内容を充実させて集客数の増加につなげていく。 ハーリー大会については、漁協活動に影響があるとのこと今後の開催は要検討となった。 三村交流事業は、まつりの回数を重ねるごとに徐々に知名度が上がりがつある。今後も広告・宣伝に力を入れるとともにイベントの充実を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○イベントを開催する実行委員会に限定し、選定を行っており妥当な選定だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、各実行委員会でのイベントに見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については、各実行委員会において、事業費の一部を負担しており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○各イベントの事業目的達成の観点から、費用額及び使途については必要なものであり、支出は適正であった。

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	観光地安全強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時の車両の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)		4,591	4,933	5,276	5,742	5,665
			4,536	4,698	5,130	5,742	6,612
			▲ 55	▲ 235	▲ 146	0	947
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額		4,536	4,698	5,130	1,383	6,612
	うち交付金充当額		3,628	3,758	4,104	1,106	5,290
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	24.1%	100.0%
	予算の状況の説明		人件費単価が上がったことにより、委託料の増額が生じた。計画していた人員配置をするための必要な増額であり、適正な予算執行が行えたと考えている。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	繁忙期である12月~3月に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	目標	(交通整理の配置4人 城跡来訪者の安全対策)	(交通整理の配置4人 城跡来訪者の安全対策)	(交通整理の配置4人 城跡来訪者の安全対策)	(交通整理員の配置(12月~3月))	
		実績	交通整理の配置4人 城跡来訪者の安全対策の実施	交通整理の配置4人 城跡来訪者の安全対策の実施	交通整理の配置3人 城跡来訪者の安全対策の実施	交通整理員の配置(12月~2月)	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	近年の入場者数を考慮し、交通整理員の配置期間を当初予定より短縮した。繁忙期である12月~2月に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置し、概ね目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	目標	()	(0件)	()	()	()
		実績		0件			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保を図るため、交通整理員を配置することにより、配置箇所における事故件数は0件となり、目標を達成した。					

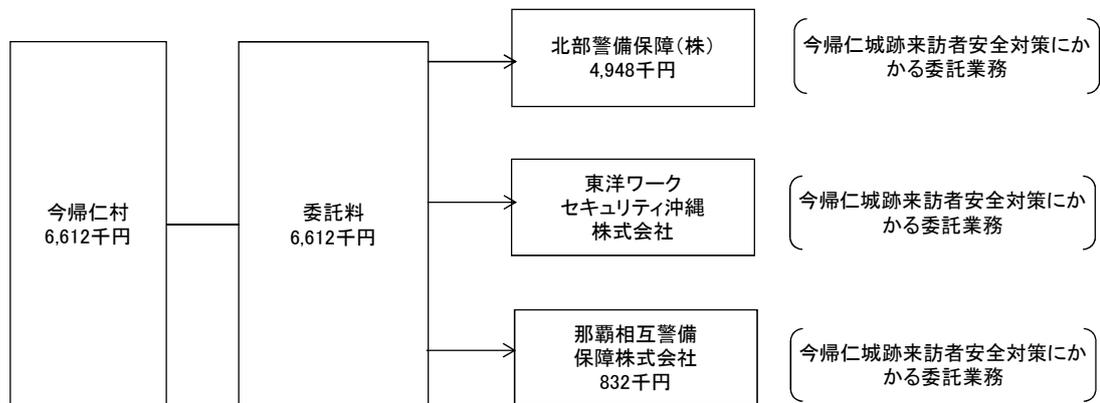
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、交通整理員の確保が課題である。 ・平成30年度は桜まつり期間中の入場者数が過去最高を記録した。外国人観光客の増加に伴い、外国人の利用するレンタカーも増えている。今後も多くの観光客等の来訪が見込まれることから、更なる安全対策とスムーズな誘導が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通整理員の確保に向けて、効率的な配置箇所及び配置人数を精査・検証する必要がある。 ・安全かつスムーズな誘導の実施を目指し、交通整理員のスキルを向上させる取り組みを検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・交通整理員の効率的な配置箇所及び配置人数を精査・検証し、必要となる交通整理員数を確保する。
 ・高いスキルを持った交通整理員を確保するため、本業務に従事する交通整理員は、警備業法に定められた研修を受けた者とする旨を仕様書に記載するとともに、委託業者で実施する研修時間(30時間)を考慮して、早期に委託契約を締結する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,612	6,612	5,290	1,322	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定にあたり、指名競争入札を行ったものの、人員が確保できないとの理由により、不調となったことから、複数の業者に分けて随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、他イベントの事例と比較しており、適正な規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

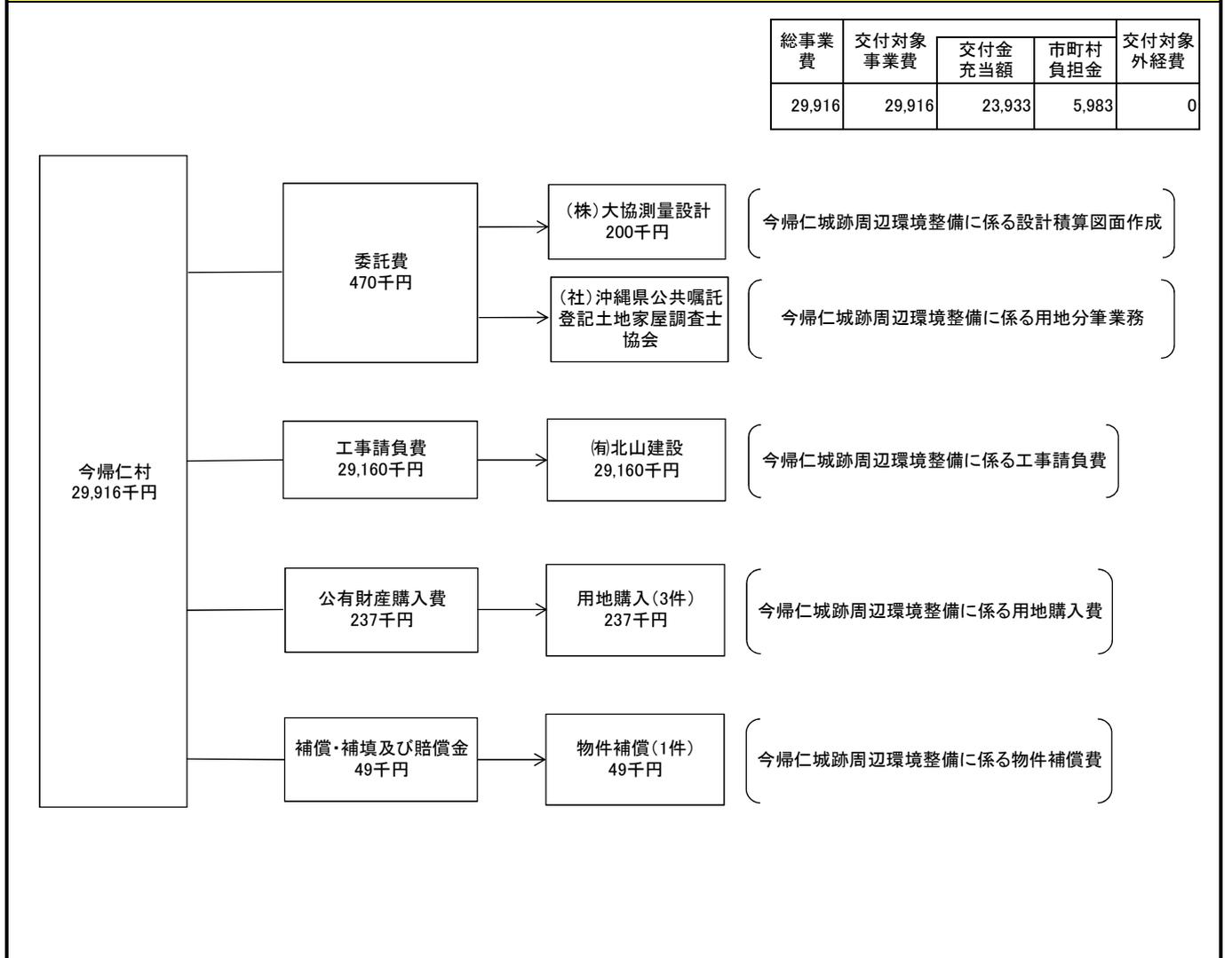
市町村名	今帰仁村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	今帰仁城跡周辺環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)を整備し、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度向上を図ることで、安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H27年度(繰越)	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	57,237	-	54,534	55,887	35,940
		(b)予算現額	54,237	-	42,076	51,516	29,916
		(c)増減額(b-a)	▲3,000	-	▲12,458	▲4,371	▲6,024
		(d)繰越額	-	17,964	-	-	-
		A.計(b+d)	54,237	17,964	42,076	51,516	29,916
		B.執行済額	36,273	17,964	42,076	51,480	29,916
		うち交付金充当額	29,018	14,371	33,661	41,184	23,933
		次年度繰越額	17,964	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	66.9%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%
予算の状況の説明	今帰仁村内の他事業で優先的に予算を執行する必要が生じたことから、事業間流用により本事業は減額とした。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を行う。		目標	(整備の実施)	()	()	()
			実績	整備の実施			
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化するため、今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	全体計画における4.7%整備(累積整備率38.9%)		目標	() (4.7% (38.9%))	()	()	()
			実績	3.2% (37.6%)			
	【R4成果目標】魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標				80%
進捗状況説明	河川整備を実施(左岸L=36m)し、全体計画における整備率は3.2%(整備延長36m/全延長1,120m)、累積整備率は37.6%(累積延長422m/全延長1,120m)となり、目標を達成できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・河川全体の整備完了に向けて、翌年度から年度あたりの整備延長が長くなる計画であることから、適切な進捗管理が課題となる。</p>	<p>・右岸側の河川整備において道路管理者(県道)との協議が必要となる等、全体計画の進捗に影響を及ぼす事項を把握し、事業を円滑に進めていくことが重要である。</p>

今後の取り組み方針

・河川全体の整備完了を目標とする年度計画工程表を作成し、関係機関と早期に調整を行いつつ、計画的に事業の進捗を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れの流 れ点 検 査 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事業者に関しては、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。</p> <p>○予算規模については、予算内で工事発注することができたことから、適正規模であった。</p> <p>○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-⑤	今帰仁城跡ガイド強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成	
事業内容	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来場者に無料ガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力を観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	3,769	3,690	3,660	3,077
	(b)予算現額	3,690	3,690	3,660	3,077	3,700
	(c)増減額(b-a)	▲79	0	0	0	0
	(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)	3,690	3,690	3,660	3,077	3,700
	B.執行済額	3,690	3,690	3,660	3,077	3,700
	うち交付金充当額	2,952	2,952	2,928	2,461	2,960
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	予算内での適正な執行が行えた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	世界遺産・国指定史跡今帰仁城跡の無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会の実施	目標 (講演会1回 研修会2回)	(講演会1回 研修会2回)	(講演会1回 研修会2回)	(講演会1回 研修会2回)	(ガイドの実施、 講演会・研修会の実施)
	実績	講演会2回 研修会4回	講演会1回 研修会2回	講演会1回 研修会2回	ガイドの実施、 講演会・研修会の実施	
	目標	()	()	()	()	
実績						
達成状況説明	・世界遺産・国指定史跡今帰仁城跡の無料案内を実施(ガイド登録人数は35名)した。 ・講演会(5/12開催/44名参加)、新人ガイド研修会(8/5開催/18名参加、うち新人7名)、「南部の聖域を巡る」研修(11/27-28開催/28名参加)の開催、他団体主催の研修会への参加、城跡等文化財散策ツアーの実施を通して、ガイドの資質向上を図った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		ガイドによる案内者数 12,200名	()	(11,700名)	(11,900名)	(12,200名)
	実績		12,095名	12,040名	13,614名	
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	・講演会、研修会等の実施を通してガイドの資質向上を図り、今帰仁グスク桜祭りに合わせて実施した文化財散策ツアー等により、案内ガイドの訓練実績を重ねている。来訪者に対しわかりやすく今帰仁城跡の歴史を解説することで、今帰仁城跡のPRつながっている。平成30年度の入場者数は前年比約2万人の減であったが、夏場の閑散期には積極的に来訪者に声をかけることで平成30年度の来訪者への案内は、目標数値を上回る13,614名の案内実績を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新人ガイドの加入はあるものの、ガイドの高齢化が課題となっており、案内実績の増加に向けて懸念がある。</p>	<p>・若年層のガイドメンバーの確保や案内実績の増加に向けた取り組みを進める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・ガイドメンバーの若返りを促進するため、県との連携や大学等研究機関と連携を図り、新たなメンバーの確保に取り組むとともに、文化財部局と連携してガイド養成講座を継続することにより、案内実績の増加や新人ガイドの資質向上を図る。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,700	3,700	2,960	740	0
 <pre> graph LR A[今帰仁村 3,700千円] --> B[委託料 3,700千円] B --> C[今帰仁グスクを学ぶ会 3,700千円] </pre>				

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者である「今帰仁村グスクを学ぶ会」は、ガイド業務について約10年以上の実績があり、業務の計画や現場の現状に詳しく、この種の業務に精通した人員を擁しており、妥当な委託先である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適正規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-⑥	景観形成強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成
事業内容	昔ながらの今帰仁村の景観が残る集落内の道路整備を行うことにより、観光客の集落内への受け入れ体制を強化する。また、村が管理する道路の舗装、粉塵防止、雑草防止、防護柵等を整備し、車輛の安全及び歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受け入れ体制を整える。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4 年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	59,830	63,472	53,300	47,300
	(b)予算現額	51,829	62,637	57,160	51,375	20,400
	(c)増減額(b-a)	▲8,001	▲835	3,860	4,075	▲9,600
	(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)	51,829	62,637	57,160	51,375	20,400
	B.執行済額	51,829	62,637	57,159	51,375	20,400
	うち交付金充当額	41,463	50,110	45,727	41,100	16,320
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	用地交渉の難航により、公有財産購入に係る経費について、予算を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に沿った道路整備を行う。 ・張りコンクリート設置工事 ・排水路工事	目標	(道路整備実施)	()	()	()
		実績	道路整備実施			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備(平敷幹線農道の張りコンクリート設置工事(2部))を計画どおりに実施し、目標を達成した。 ・古宇利渡海原線排水路工事の用地測量及び鑑定評価を実施した。 ・仲宗根地区排水路設置工事の用地測量及び鑑定評価を実施した。 ・運天排水路設置工事の鑑定評価を実施した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
			()	(道路整備完了)	()	()
	道路整備完了	実績	道路整備完了			
	【R4成果目標】魅力的な景観が形成されたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。	目標				80%
進捗状況説明	・観光客の受入体制の強化を目的とした道路整備(平敷幹線農道の張りコンクリート設置工事(2部))が完了し、目標を達成した。					

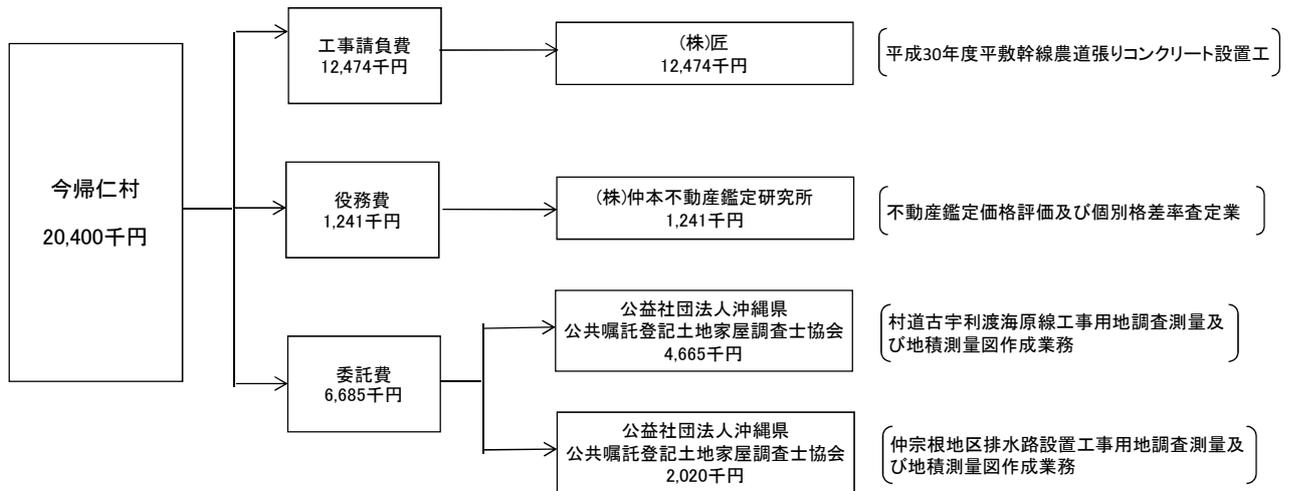
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・観光客の受入体制を強化するために今後計画している整備については、用地購入が必要となる箇所があるため、円滑な事業執行に向けて、地権者との交渉が課題となる。	・事業の目的や必要性について、地権者へ理解していただけるよう十分に説明するとともに、早期の執行が可能となるよう事業の進捗を適切に管理する必要がある。

今後の取り組み方針

・円滑な事業執行に向けて、早期に地権者と交渉を始め、事業に対する理解が得られるよう十分な時間を確保しつつ、適切な進捗管理を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,400	20,400	16,320	4,080	0



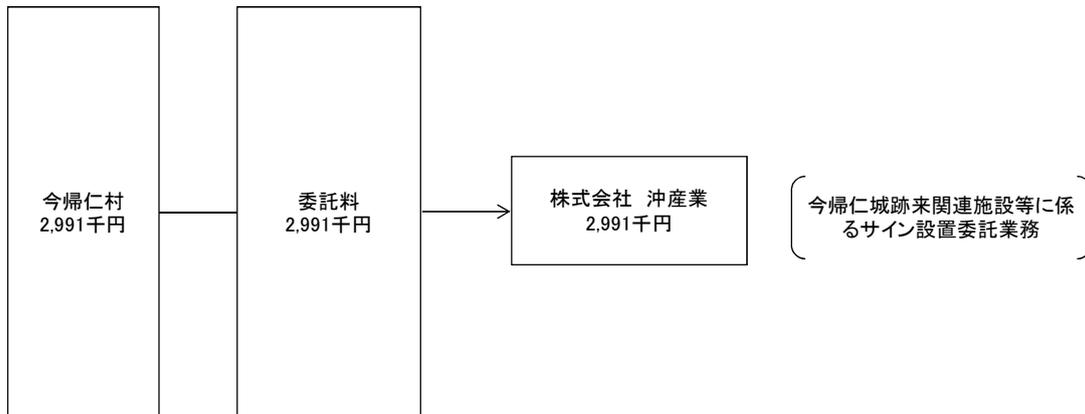
資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の契約規則に基づき、工事請負業者は指名競争により入札を行い、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は設計額に基づき発注しており適正な規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦		今帰仁城跡関連施設サイン等設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	教育委員会 社会教育課		事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	外国人観光客の利便性を確保するため、世界遺産今帰仁城跡周辺施設に多言語サインを設置し、外国人観光客の受入環境を整える。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,285				
		(b)予算現額	2,991				
		(c)増減額(b-a)	▲294				
		(d)前年度繰越額	-				
		A.計(b+d)	2,991				
	B.執行済額		2,991				
	うち交付金充当額		2,392				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を進め、入札残(294千円)が発生したことから、他事業へ流用した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	今帰仁城跡関連施設の多言語化された看板の制作・設置を行う。 ・グスク交流センター案内看板等 ・駐車場誘導看板等	目標	(多言語化看板の制作・設置)	()	()	()	
		実績	多言語化看板の制作・設置				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	今帰仁村グスク交流センター(券売所)及び周辺駐車場等に、日本語、英語、韓国語、中国語(簡体・繁体)の表示をしたサインを設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
	駐車場誘導看板作製完了	目標	()	(駐車場誘導看板作製完了)	()	()	()
		実績		駐車場誘導看板作製完了			
	【R1成果目標】外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、外国人観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標				(80%)
	進捗状況説明	・観光客への案内や誘導をスムーズに行う為の多言語表示の駐車場誘導看板の作成を完了し、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・観光客へスムーズな案内が可能となり、施設等の場所の問い合わせが減少していることから、現状において目立った課題はないが、外国人観光客の利便性が確保されたかをアンケートによって検証し、必要に応じて工夫・改善を行っていく必要がある。</p>	<p>・効果的なアンケートを実施するため、アンケート方法(場所や内容等)について検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・効果的なアンケートを実施し、外国人観光客の利便性が確保されたかを検証し、必要に応じて工夫・改善を行っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,991	2,991	2,393	598	0



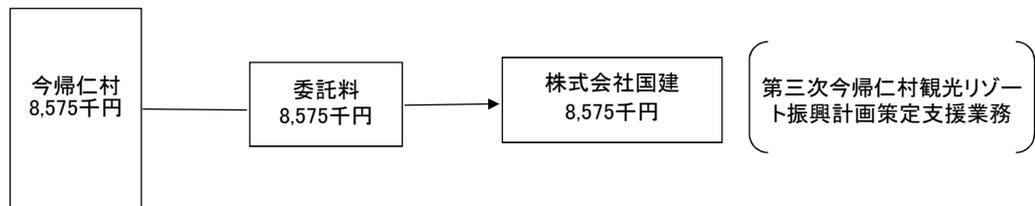
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、指名競争入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は入札残によるものであり、予算規模は適正であった。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧	今帰仁村観光リゾート振興計画		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ア) 国際的な沖縄観光ブランドの確立		
担当部課名	経済課	事業実施 (予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光振興を図る為、今帰仁村の観光の現状や課題の分析などを行い、観光振興事業の指針となる今帰仁村観光振興計画を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,997				
		(b)予算現額	8,575				
		(c)増減額(b-a)	▲422				
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	8,575				
	B. 執行済額		8,575				
	うち交付金充当額		6,860				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を進め、入札残(422千円)が発生したことから、他事業へ流用した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光リゾート振興計画を策定する。	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	観光振興事業の指針となる今帰仁村観光振興計画を策定した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R5年度)
	H30観光振興計画策定の完了。	目標	()	(策定完了)	()	()	()
		実績		策定完了			
	【R5成果目標】 村内主要観光地の入込客数	目標					(880,000人)
		進捗状況説明	観光客のニーズを把握し、観光振興に寄与する新たな観光施策を推進していくための指針となる計画を策定し、目標を達成した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘致に係る目標値が達成に向けて取り組みを具体化していくことが課題となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘致に係る目標値が達成されているか適切に検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 観光振興計画に基づく観光関連事業を展開し、本計画の目標(指標)値をもとに成果の検証を行っていく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,575	8,575	6,860	1,715	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は公募型プロポーザルにより選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、422千円を減額したが適正な規模であったと考えている。 ○費用・使途については事業完了後に支出内容を確認し確定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	多言語ガイドブック等作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	外国人観光客の利便性の確保を図る為、多言語に対応できる充実した観光案内パンフレット及び観光マップ、PRポスターを作成する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,958				
		(b)予算現額	4,871				
		(c)増減額(b-a)	▲87				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	4,871				
	B.執行済額		4,872				
	うち交付金充当額		3,897				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を進め、入札残(87千円)が発生したことから、他事業へ流用した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	多言語観光ガイドブックや多言語観光マップ等を作成し、配布する。		目標 (ガイドブックの作成・配布)	()	()	()	
			実績	ガイドブックの作成・配布			
達成状況説明	観光ガイドブック(日本語・英語・韓国語・中国語「簡体語・繁体語」)5カ国語を作成し、観光施設、県内宿泊施設等へ配布した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
	多言語観光ガイドブックを作成	目標	()	(ガイドブック作成)	()	()	()
		実績		ガイドブック作成			
	多言語観光マップの作成	目標	()	(マップ作成)	()	()	()
		実績		作成見送り			
	観光資源PRポスターの作成	目標	()	(ポスター作成)	()	()	()
		実績		作成見送り			
【R1成果目標】外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、外国人観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標				(80%)	
進捗状況説明	当初は多言語観光ガイドブック・観光マップ・PRポスターの作成を予定していたが、村観光協会にて類似のマップ・ポスターを作成していたことが分かり、ガイドブックのみを作成し、目標を一部達成した。						

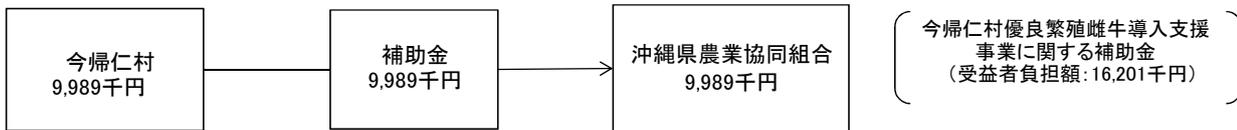
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新規導入農家が3件あり、今後も牛のセリ価格の上昇が続いていることから、村内農家に対し平等に導入支援が出来るように事業を行う必要がある。 村和牛改良組合員の老廃牛更新がまだ残っているため本事業での導入数が少ない農家との調整が必要である。 事業実施については、事業期間内ぎりぎりの執行等があった。次回からは農家要望を踏まえたうえ、早期に行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業導入農家選定については、新規導入農家やこれまでに導入頭数が少ない農家を優先に実施する。 村和牛改良組合員の老廃牛更新についても考慮しつつ、事業を進める。 事業の要望調査を早期に行い導入の遅滞がないよう、事業期間内での円滑な実施を行う。

今後の取り組み方針

・本事業導入農家を選定する場合は、全体の老廃牛更新を促すためにも未導入農家や導入頭数の少ない農家から優先的に行う。
 ・村和牛改良組合員の所有する老廃牛の更新、母牛得点の向上を図りつつ、全体計画の168頭導入に向け取り組んでいく。
 ・繁殖牛の導入について、次回からは年度の早い内から計画し遅滞ないように円滑な事業実施に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
26,190	9,989	7,991	1,998	16,201



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○沖縄県農業協同組合は実績もあり村和牛改良組合とも連携を図れることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、計画頭数を導入することが出来たため適正規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は、16,202千円となっており負担関係は妥当だと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。